

6月朝会・校長先生のお話

自分のよさを発揮しよう

さて、今日は自分や友だちの「よいところ」のお話です。

みんなは自分のよいところはどんなところだと思いますか。人にはみんなよいところもあればまたよくないところもあります。悪いところばかりの人というのはいないと思います。また、得意なこともあれば苦手なこともあるでしょう。

羽生市内の東中学校の野球部は埼玉県でNO1になりました。その卒業生は、今、浦和学院という強豪チームに入り、高校野球でも活躍しています。校長先生は、以前、下東中学校の校長先生に「どうして東中の野球部は強いのですか？」と聞いたことがあります。すると、その校長先生がおっしゃるには、野球の練習ばかりたくさんやっているわけではないのだそうです。むしろ、野球以外のことをたくさんがんばっているそうです。たとえば、あいさつ、きちんと道具の整理整頓をしている、冬の朝、学校の周りの落ち葉掃きをがんばっている、そんなことを自分たちで考えて、がんばっているのだそうです。だから、野球でもがんばることができるのだそうです。

校長先生はサッカーを今も教えていますが、全国で優勝した広島の学校のサッカー一部の部室は靴や道具や制服が見事にきちんとそろえてありました。こんな当たり前のことが本当にしっかりとできるから、サッカーも強いのですね。

岩瀬っ子のみんなはどうでしょう。

あいての名前を言って心を込めて挨拶できていますか。

校長先生が見る限り、できるように成った人がたくさんいます。登校班でもたくさんいます。また、クルマが止まってくれたときにきちんと挨拶できている班長さんやお友達もたくさんいます。散歩している地域の人に挨拶している人も見かけたことがあります。

校長先生は、サッカーの合宿で日本代表選手だった武田選手と一緒にいたことがあります。校長先生がお風呂に行こうとしたときに武田選手とすれ違ったのですが、その時に武田選手から「こんにちは」と声をかけられました。武田選手は有名な人ですから当然校長先生は知っていましたが、校長先生のことを武田選手は知らなかったと思います。知らない人にも当然のように挨拶ができる。だから武田選手は日本代表にもなれるのだと思います。

みんなだってとってもがんばっています。春休みに準備登校に来てくれた6年生の下駄箱は大変よく靴がそろえられていました。先日体育に行ったあとの1年生の教室をのぞいたら、机がとってもきれいにそろっていました。

そんな当たり前のことがしっかりとできるということは立派なことです。時間を守ることができる。あいさつができる。返事がしっかりとできる。掃除がしっかりとできる。そんなことをどうせやるんだったらしっかりとやりきりましょう。そうすると、自分のいいところももっともっと伸びていくと思います。

当たり前のことを、当たり前のようにしかりやって、自分のいいところをどんどん伸ばしていきましょう。

